

3月のコラム ～最近の無人化体験～

かつてスーパーマーケットやコンビニが広まった頃、会話をしないで買い物ができるようになったと話題になった時代がありました。それから時は流れ、多くの場面で会話せずに行き交うことが運ぶようになってきました。

先日入ったファミレスでは、注文はタブレット。料理は、配膳ロボットが運んでくるので、自分で取ってテーブルに置きます。お会計は、自動精算機でした。食器を回収する店員さんはおられましたが、全く目も合わさず、言葉も交わりませんでした。

久しぶりに行ったカラオケボックスでもびっくり。スマホアプリで事前予約するところまでは以前と同じでしたが、受付は無人。時間になると画面に部屋番号が表示されたので勝手に部屋に入りました。飲み物は、廊下に置いてあるドリンクサーバーから自分でカップに注ぎます。時間前になると延長するかどうかを確認するメッセージが、部屋に設置のタブレット画面に表示されます。終了時間になると、またスマホアプリに通知が・・・予め登録してあったクレジットカードで自動決済がされ、清算も終わったようです。これで帰っていいのよね？と不安ながらもお店の人には、一切会わず、声もきかないまま店をでました。(ちなみにカラオケボックスは、個室でパソコンが使えて、充電もできて、食べ物持ち込みOK、ドリンクはフリー、周囲の歌声がうるさいことだけ我慢すれば、1時間居て500円でおつりが来るので(平日昼間)外出時の時間調整に重宝します)

空港では、出国、入国の審査は、自分で機械にパスポートを読み込ませ、カメラに向かうと顔認証でチェックされ、OKであれば扉が開いて進めます。今回の初体験は、チェックイン機で荷物タグまで自動発行されたこと。印刷された荷物タグのシールをはがして、自分でトランクの取っ手に取り付けます。続いて Bag Drop のラインに進み自分でコンベアに荷物を載せて、また画面操作です。スタートすると重量の自動計測が始まります。画面の操作指示に従い、スキャナーを手に取り、荷物タグのQRコードを読み取ります。ベルトコンベヤーは奥へ進み手荷物預け完了。航空会社や国によって異なりますが、どこでも必ず人が対応しているのは、機内持ち込みの保安検査と搭乗口だけでした。さすがにフライトアテンダントは、ロボットではありませんでしたが・・・近い将来変わるかも？

働き手不足の中、これからもどんどん無人化される場面が増えていくのでしょうか。IT化で消えていく職業と新しく生まれる職業が時々話題になりますが、どうなっていくのか？楽しみと憂いが半々です。

2024年3月 水田かほる